

ブランチ通信 No6

2020.4 イースター

裏の公園の桜が満開となり、春に心躍らせているはずのこの季節。

今年は少し様子が変わっています。

外出自粛で、予定していた旅行がキャンセルになったり、それだけでなく仕事もいけなくなったり、無くなったり。とにかく、自宅にいたことが多くなりました。

けれど、良いこともあります。自宅にいて、いろいろな方に安否を確認したり、近況を報告したり、物理的には遠くても近くに感じることができるようになった気がします。

実際に会わなければ、本当の交友関係ではないと思っていたし、ネット上のメールや動画配信もあまり信用していない私では、ありますが、こういう時には一つの方法として利用し、支え合い、慰めあえることができるのではないかと、人には形はなくても、目に見えないものを信頼に変えて生きるそのような力が備わっているのではないかと、感じています。

皆さんいかがお過ごしでしょうか？

最近の **Brunch** の報告をします。

前回、一周年記念として7月にブランチ通信 No5 を出したのですが、ずいぶん空いてしまいました。

その後すぐ、7月下旬には、このブランチが出来た時から半年余り一緒に暮らし、前年の12月に亡くなった青木さんの納骨があり、参列してくれた知人が、彼女が最後に暮らした場所を見たいと、訪ねてくださいました。彼女と早くに亡くなった

ご主人の共通の友人であったその方から、障害のある子どもの教育に携わっていた青木ご夫婦の事を聞くことができました。また、能登在住の彼女の唯一の友人宅に、何度か尋ね、彼女の人生の最期を共にした不思議さを思い、彼女の人生に少しでも寄り添えた事を感謝しました。

8月には東日本大震災の支援センターを立上げ、地域の



支援に貢献されている一関のオリーブ教会の千葉牧師夫妻が宿泊。励まされました。

12月、3月には、住人の友人知人の訪問があり、ここで、どんな暮らし方をしているのかを見てもらえたように思います。

こうしてランチに関わる人が訪ねてきてくれることで、この家がどんな役目を頂いているのか、その度に思い起こさせられています。

昨年3月から、新大学生が新しい生活をここでスタートを切り、大学生活を送っていた彼女が、ランチを卒業し、この春に、将来の夢に向かって進むため、大学近くのアパートに引っ越しました。

ランチは、送り出す場所でもありました。

そして、3月終わりのある日、一通の葉書が届きました。入居当初から、6ヶ月間ランチで生活し、1年3ヶ月前に亡くなった青木さん宛のようです。（と言うのは、宛名は青木さんの旧姓で書かれていたのです。）裏を見ると、「やっと、住所が見つかって連絡できた。」と書かれ、消息を尋ねる文面でした。

青木さんは入居時には身寄りはなく、体調の悪化もあり、又精神的な不安も強く一人で生活することがとても困難な状況でした。後見人との話し合いで、紆余曲折がありながら、すべてを清算し入居となりました。

そんな事情でしたので、直ぐに後見人に、連絡を取ってもらおうと、その方は青木さんの母親のお姉さん。伯母さんに当たる方でした。小さい時から彼女のことを知っており、様々な事情があり、親戚関係が途絶えていたとのことでした。

誰にも、今までの生い立ちをほとんど語られなかったので、親戚関係の方からの葉書と分かり驚きました。

生まれてからずっと、彼女を覚えてくれている身内の方に、ランチで暮らした青木さんの最後の時間をお伝え出来た事、本当にうれしく思いました。

日々の生活は、些細なことの積み重ねで、過ぎてしまうと何事もなかったかのように思いますが、本当は、お互いの人生をどのように受け入れていくのか、どう理解していくのか、常に突き付けられている問いかけのような気がしています。

それは、血縁の家族も同じです。夫婦の間で、子供が成長していけば親子間で意見の相違も出てくるのは、当たり前のことです。人の関係性はそ



う変わらないと思います。

大切なことは、互いに、ここにいる理由を条件や理由を付けずに受けいれて、相手の存在を信頼して愛することなのでしょう。

先日、桜の満開の春の日に、あるキリスト教会の共同墓地に行ってきました。

彼女の骨はそこにあります。お墓のプレートに名前と生まれた年月日と亡くなった年月日が刻まれていて、唯一彼女が生きていた証です。

そして、その隣には彼女の亡き夫と父親のプレートも並べて置かれています。二人のこともほとんど話すこともありませんでしたが、一緒にお墓に葬ってほしいとの遺言がありました。



新型コロナウイルスの影響で、都市封鎖も騒がれ、人と人とのコミュニケーションが途絶え、憎悪に摺りかえられてしまうのではないのかと思われるこの時期に、目に見えないけれど、季節を繰り返すように、また芽生えつなげていくこの不思議さは、人の生きる希望に変わっていくものだと思えました。

/ご案内/

- ・新型コロナウイルスの被害が最小限となり、皆さまの生活と健康が支えられますようお祈り申し上げます。
- ・収束したあかつきには、是非、ランチにお立ち寄りください。
- ・長期、短期の宿泊もできます。(実費を頂いています。)

Branch 山科 (松本)

